

※短歌は全19作品を掲載します

ふれあい・ふるさと・よいとこ・夜祭りとうゆこの師友もふ天の人
 散策の道にあげびや栗の実が熟れてたのし山蔭の径 三沢 眞下
 久々に友の訪問懐かしくよもやま話は昔に還り 下日野沢 豊子
 山の家住む人なくて金木犀待つて居る山に香りただよう 下日野沢 眞下
 同級会の幹事長をば続けくれし笑顔よき友連れて秋逝く 三沢 眞下
 通学し文武両道常として日々成長の孫は眩しき 下田野 節子
 珍しき留学生らの作りたる「しるくるー井」三沢に味はふ 三沢 眞下
 全身の麻酔よりさめ九階の窓辺にしばし心安らぐ 皆野 眞下
 ハロインは死者の祭りと若きは知るや知らずや街路でさわく 上日野沢 眞下
 さつま堀り僕もと手伝う曾孫が両手に持ちて笑顔はじける 皆野 眞下
 ホームにて誕生祝い3回目歌で祝いてありがたきかな 下日野沢 眞下
 飛行雲見るたび戦時回顧され七ツボタンの兄浮びくる 国神 眞下
 オートンオン冷たい夜にひびく声越してきた犬さみしそうだな 皆野小四年 眞下
 大霜の降りるは、いつも夜祭の三日の朝が例年の事 皆野 眞下
 文化祭並べて売らる菊の花目移りするも一鉢選ぶ 皆野 眞下
 芋掘りて穴の大きに光さす小芋もぎてや日は暮れん 国神 眞下
 大自然に抗う手段なき脅威今日もテレビに震度の表示 皆野 眞下
 しみじみと死ぬる時何が食べたいか問われてさあて食べたき物なし 三沢 眞下
 先人の繋いだ文化ユネスコも認めて初の夜祭を待つ 皆野 眞下

中村琴江選

投稿数20句

地下足袋に馴染みて老いぬ文化の日 三沢 眞下
 (評)国民の祝日、十一月三日は文化の日。この日を前後に多彩な行事が各地で開かれます。作者は来し方をふり返り感慨深く文化の日をすこされ、さらに土に親しむ現在の暮らしに感謝なされております。魅力あふれる力強い秀句です。兄弟会の句一読で心が和みます「中七」に感動です。紅葉宿の季語がこの句を二層引き立ており会の睦まじさが実感として伝わってくるほのぼのとした秀句です。

兄弟会ひとりも欠けず紅葉宿 皆野 引間 千鶴
 庭に来て鳴いて縄張り尉鶴 金沢 田中 康穂
 孫子らの背丈見上げる焚火の輪 真白に山茶花咲かせ母の空 皆野 吉田香代子
 皆野 根岸 詩子
 秋雨の夕暮れに来し訃報かな 山裾の煙り棚引く炭を焼く 皆野 関根 助市
 下田野 新井 節子
 霜降や駅のベンチに小座布団 霜降や駅のベンチに小座布団 皆野 市川 岳樹
 パリパリと夕日の色の柿をかむ 目を皿にしても真暗秋の暮 三沢 鈴木 貞恵
 皆野小四年 太幡琉美花 十月や年を重ねて白髪キク 下日野沢 鈴木 キク
 根を張りて鉢を割りたる藪柑子 三沢 新井 民子
 皆野 保科 従道

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう



可偉くん
 根岸区
 中島 賢一さん
 明子さん

いつも笑顔の可偉くん。お兄ちゃん達と仲良くしてね。



叶芽ちゃん
 上原区
 小林 耕大さん
 圭子さん

1歳おめでとう!! いっぱい遊んで笑って、元気にすくすく育ってね☆



慶華ちゃん
 上三沢区
 山口 閑さん
 慶銘さん

いつも笑顔いっぱい慶華ちゃん、元気に育って行ってね。



奏くん
 上の台区
 宮崎 達弥さん
 ゆき野さん

物怖じしない性格にはたくましさを感じています。大きくなれよ!



智樹くん
 下田野区
 田野 一樹さん
 奈津美さん

いつもニコニコ智くん。いっぱい笑って元気に大きくなってね!!

※満1歳の赤ちゃんを募集します。1月号の締め切りは、12月10日(土)まで。ホームページからも応募できます。